

令和6年度 事業報告書

1、法人の概要

名称 社会福祉法人 清涼会
理事長 理事長 本多 伯舟
所在地 名古屋市中川区五女子町4丁目32番地1

2、設置する施設

施設名称 および 施設長名 ()は認定こども園の類型

○認定こども園 清涼保育園 (幼保連携型)	園長 青山 澄江
○清涼園デイサービスセンター	施設長 小川 正志
○認定こども園 神の倉清涼保育園 (幼保連携型) (園内 子育て支援センター 「ちゅうりっぷクラブ」)	園長 鈴木 玲子
○認定こども園 神の倉清涼保育園分園	園長 鈴木 玲子
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、併設 和ショートステイ	施設長 小川 瑞穂
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑、併設 和ショートステイ	施設長 山田 守
○東神の倉清涼保育園	園長 森野 章子
○植園清涼保育園	園長 杉山 正海
○依佐美清涼保育園 (園内 病児・病後児保育「依佐美 おひさまケア・ルーム」) (園内 一時預かり「ちゅうりっぷ」)	園長 森 友子
○鳴子清涼保育園	園長 奥野 緑

3、施設所在地

名古屋市中川区五女子町4丁目32番地1	(認定こども園 清涼保育園、清涼園デイサービスセンター)
名古屋市緑区東神の倉3丁目1803番地	(認定こども園 神の倉清涼保育園、神の倉清涼保育園分園、子育て支援センター)
名古屋市緑区東神の倉3丁目2211番地	(認定こども園 神の倉清涼保育園 分園)
名古屋市南区明治1丁目6番9	(特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、併設 和ショートステイ)
東海市加木屋町冬至池4番15	(特別養護老人ホーム 東海清涼苑、併設 和ショートステイ))
名古屋市緑区東神の倉3丁目3407番地	(東神の倉清涼保育園)
名古屋市名東区植園3丁目24番	(植園清涼保育園)
刈谷市高須町山ノ神57番地	(依佐美清涼保育園、病児・病後児保育、一時預かり)

4、事業目的

○認定こども園 清涼保育園

幼保連携型の認定こども園として、幼児教育の一層の充実を目指し、高齢者施設との連携を図り地域福祉の充実を図る地区の保育の拠点として積極的に地域の行事に参加するとともに、保護者に保育に関する助言等を積極的に行う子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○認定こども園 神の倉清涼保育園、神の倉清涼保育園分園

幼保連携型の認定こども園として、保護者の就労状況等に関わらず受け入れて、就学前の子どもに幼児保育・教育を行う地域における子育て支援として、すべての子育て家庭を対象に子育て不安の緩和・解消に寄与する子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○認定こども園 神の倉清涼保育園内 子育て支援センター 「ちゅうりっぷクラブ」

0歳～未就園児のお子様とその保護者を対象に園庭開放や、季節の行事親子ふれあい教室などをほぼ毎日開催し、また看護師・管理栄養士・保育士による育児相談を行う(電話相談も可)ことにより、家庭以外でのお子様とのふれあいの場の提供、子育ての悩みの緩和・解消をめざし、お子様と保護者のより良い関係づくりに寄与する

○東神の倉清涼保育園、植園清涼保育園、鳴子清涼保育園

子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指すまた、豊かな人間性を育むために「考える子ども」の育成を主たる目標として、個々の発達に応じた適切な援助を行う

○依佐美清涼保育園

緑に囲まれた自然豊かな地域での郊外型保育園として、名古屋市の認定こども園、保育園同様に子どもの豊かな人間性の育成のために、養護と保育を一体化し、「知育・体育・徳育」の実践と確立を目指す

- 依佐美清涼保育園内 病児・病後児保育室「依佐美おひさまケア・ルーム」
病児病後児保育を実施し、病気又は病気のピークが過ぎても集団保育ができない子を医療専門職員が預かることで、保護者が安心して就労できるよう、子どもと保護者を支える
- 依佐美清涼保育園内 一時保育室「ちゅうりっぷ」
一時預かり事業を実施し、保育園に在籍していない子で、保護者が仕事や病気など一時的に家庭で保育できない時や、育児疲れを解消したい時(リフレッシュ)などに、子どもを預かり、地域の子育てへの協力を行う
- 清涼園デイサービスセンター
身体虚弱な居居高齢者に対して地域密着型通所介護施設として各種サービスの提供により、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の向上を図るとともに、家族の負担軽減を図る
- 特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑、特別養護老人ホーム 東海清涼苑
常に介護が必要で、家庭での介護が困難な寝たきりや認知症の高齢者の入所介護を行う
- 特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑 和ショートステイ、東海清涼苑 和ショートステイ
要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る

5、定員

○認定こども園 清涼保育園	48名	
○神の倉清涼保育園	135名	
○神の倉清涼保育園 分園	20名	
○東神の倉清涼保育園	60名	
○植園清涼保育園	90名	
○依佐美清涼保育園	135名	
○鳴子清涼保育園	120名	
○清涼園デイサービスセンター	18名	
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑	100名	短期入所 9名
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑	100名	短期入所 10名

6、実員

○清涼保育園	43名	
○神の倉清涼保育園	134名	
○神の倉清涼保育園 分園	15名	
○東神の倉清涼保育園	52名	
○植園清涼保育園	87名	
○依佐美清涼保育園	134名	
○鳴子清涼保育園	116名	
○清涼園デイサービスセンター	7.1名	(平均)
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑	98名	短期入所 6.18名 (平均)
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑	99名	短期入所 5.54名 (平均)

(令和7年3月31日付)

7、従業員数

○清涼保育園	13名	
○認定こども園 神の倉清涼保育園 (分園、子育て支援センター含む)	38名	(うち、障がい者雇用 1名)
○東神の倉清涼保育園	17名	
○植園清涼保育園	20名	
○依佐美清涼保育園(病児・病後児保育、一時預かり)	24名	
○鳴子清涼保育園	23名	
○清涼園デイサービスセンター	5名	
○特別養護老人ホーム 内田橋清涼苑 (和ショートステイ含む)	58名	(うち、障がい者雇用 1名)
○特別養護老人ホーム 東海清涼苑 (和ショートステイ含む)	76名	(うち、障がい者雇用 3名)

(令和7年3月31日付)

8、運営費

◇保育園、認定こども園	国基準による公定価格 民間社会福祉施設運営費補給金 その他名古屋市補助金、刈谷市補助金
◇デイサービスセンター	介護保険料及び、利用者負担
◇特別養護老人ホーム及び併設 ショートステイ	介護保険料及び、利用者負担

9、財政状態及び経営成績

令和6年度は法人経営における大規模な事業への着手はありませんでした。

令和6年度は前年に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症にいかうしたことにより介護施設においては感染対策を継続しつつも、ほぼコロナ以前の生活を提供して参りました。

職員の会議、研修については対面のみならず必要に応じてWeb会議、オンライン研修を併用して行いました。

新たな取り組みとして、清涼園デイサービスセンターの利用者確保のためSNSの活用すべくInstagramを開設し情報発信を開始しています。

契約事項として、介護部門3施設の電力供給会社を楽天エナジー株式会社からデジタルグリッド株式会社へ変更し電気代の削減に取り組み、35.7%の削減見込みとなっています。

また、修繕として内田橋清涼苑にて浴室の赤外線ヒーターの取替を行いました。

保育施設においても、職員の健康状態の把握に取り組みつつコロナ禍以前と同様の行事を行うことが出来ました。

神の倉清涼保育園保育園において前年の大規模修繕工事に続き、防犯対策の強化として駐車場からの門扉の改修工事を行いました。

またグループの幼児部門全体を対象に非営利団体コードモノミカタ代表理事井桁容子先生を招いて研修会を行いました。

昨年度の産前産後休暇取得者は保育部門で9名、育休取得者は保育部門で20名の延べ29名、介護部門で取得者はありませんでした。

令和7年3月には、日本健康会議による「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」の認定を6年連続で受けました。

法人全体の重要課題としてきた東海清涼苑の稼働につきましては、特別養護老人ホームの稼働率は、前年度92.28%から93.91%と増加しましたが、目標である安定して95%以上の稼働を実現するには至っておりません。

しかしながら上半期は92.39%とほぼ前年並みでしたが、下半期では95.43%となっており今後も維持できるように努めて参ります。

併設ショートステイは前年の55.93%から下落し、54.84%となりました。下落の要因としては長期の利用者様を

特別養護老人ホームにご入居を頂くよう推進したことが挙げられますが、短期利用のリピーターの数は着実に増加しております。

同じく課題となっております清涼園デイサービスセンターにつきましては、長らくご利用いただいております方々のご逝去やADL低下による施設へのご入居などが相次ぎ、前年の47.48%から低下し、39.44%と厳しい数字となっておりますが25年1月より増加傾向にあります。

内田橋清涼苑につきましては、特別養護老人ホームの稼働率は前年の91.12%から下落し、90.49%となりました。

下落の要因としましては、前年に引き続き介護職員不足により受け入れ体勢が十分に整えられず、その補填に生活相談員・

介護支援専門員が追われ、新規入居者への対応が大いに滞ったことが挙げられます。

ショートステイについては、前年の88.02%から下落し68.74%となりましたが、特別養護老人ホームと同様に生活相談員が十分に相談業務に従事できず、利用者確保が滞る運営となったことに起因するものと考えます。

サービス活動収入は内田橋清涼苑は前年度比約1,250万円減、東海清涼苑は約3,150万円増、清涼園デイサービスセンターは約400万円減となり、介護部門全体では約1,500万円の増収となりました。

サービス活動増減差額は内田橋清涼苑が前年度比約2,820万円減、東海清涼苑は同約1,500万円増、清涼園デイサービスセンターは同約100万円減、介護部門としては1,420万円減となり増収減益という結果になり、介護部門全体のサービス活動増減差額は約2,700万円のマイナスとなっています。

減益の要因として、内田橋清涼苑の人件費・給食費がそれぞれ前年より約1,700万円、280万円、同じく東海清涼苑で人件費・給食費が約1,090万円、60万円増加したことや、内田橋清涼苑で修繕費が約750万円増加したことなどが要因となり介護部門全体で2,920万円のサービス活動費用の増加がありました。

前述のように電力供給会社を切り替えるなど、経費の削減に引き続き取り組んで参ります。

保育部門については、各園ほぼ定員を満たしての運営となりました。

収支は前年度に引き続き依佐美清涼保育園がマイナス収支となっておりますが、サービス活動収入は前年に対し約2,190万円と大幅な増収となり、サービス活動増減差額は約220万円のマイナスではありますが、前年の約840万円から約620万円の改善となっております。増収に対してのサービス活動増減差額の改善が小さくなった要因としては、前年に産休育休であった職員が復帰し人件費が約1,800万円増加したことが挙げられます。

東神の倉清涼保育園は残念ながらサービス活動収入が約420万円減少、サービス活動費用が約490万円増加したことにより、サービス活動増減差額が対前年比で約900万円のマイナスとなりました。増加した費用は人件費約300万円をはじめ事業費全体に前年より増加しました。神の倉清涼保育園ではサービス活動収入が前年より約5,320万円増加し、人件費などサービス活動費用が約870万円増加しましたがサービス活動増減差額は約4,450万円の増益となりました。

その他の園につきましては清涼保育園が約350万円、植園清涼保育園が約1,470万円、鳴子清涼保育園が1,490万円の

増収となっています。

法人全体のサービス活動収入は約11,900万円増、サービス活動費用は約10,070万円増となり、約1,830万円改善したもののサービス活動増減差額は約290万円のマイナスとなっています。

地域公益事業である清涼園デイサービスセンターの「八幡カフェ」や内田橋清涼苑の認知症カフェ「なごみカフェ」は、感染防止のため開催は控えましたが、今後再開を目指して参ります。

令和6 年度 事業報告書附属明細書

事業報告書に補足すべき重要な事項はないので附属明細書は作成していない。

以上